



スミダコーポレーション株式会社

2020年12月期通期決算説明資料

2021年2月8日





- 1. 2020年度第4四半期、通期業績概要**
- 2. 2021年度業績予想**

社長 堀 寛二
CFO 本多 慶行



2020年度 第4四半期業績概要

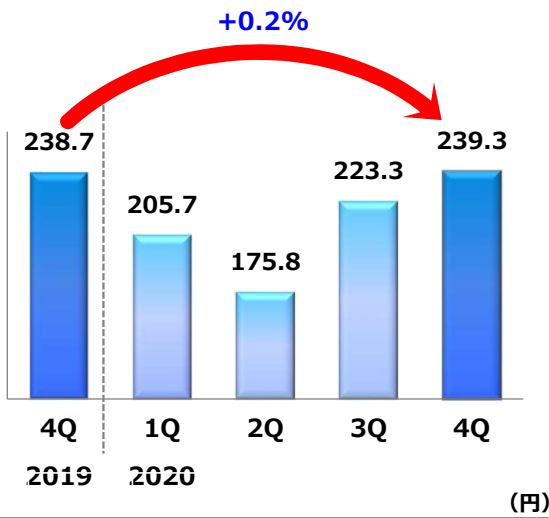
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

3

売上高の推移



(億円)



- 上半期、特に低調だった北米、欧州地域の車載マーケットが3Qに回復し始め、4Qも回復傾向が継続した。
- 11月、12月は前年同月を上回り、4Qは前年同期比でプラス成長となった。

	(円)				
USD	108.57	109.43	107.89	106.01	104.75
Euro	119.76	120.76	118.17	123.32	123.53

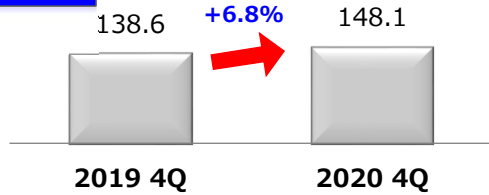
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

市場別売上高 前年同期比較



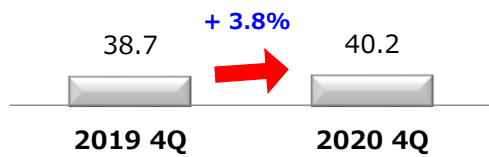
(億円)

車載



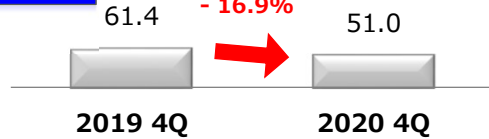
→ 3Qに回復し始めた、北米、欧州を中心としたマーケットの回復傾向が継続した。特に、EV/xEV向け製品売上が拡大した。

インダストリー



→ 3Qと同様に、太陽光発電向けビジネス、医療分野及び家電用生産設備向け顧客の需要が好調に推移した。前年同期比では若干増加した。

家電



→ 主要顧客の大幅な戦略変更、及び米中関係の悪化の影響を受け、前年同期比では減少した。

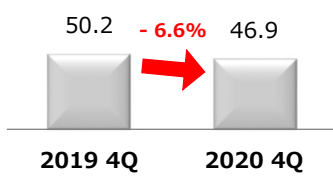
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

地域別売上高 前年同期比較

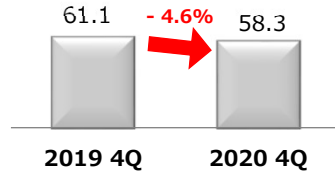


(億円)

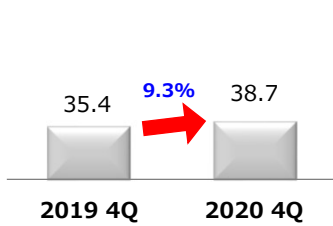
アジア (中国/台湾除く)



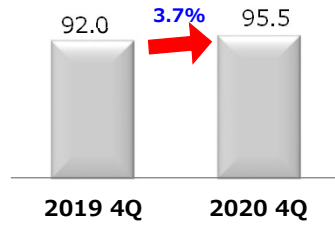
中国/台湾



北米/その他



欧州



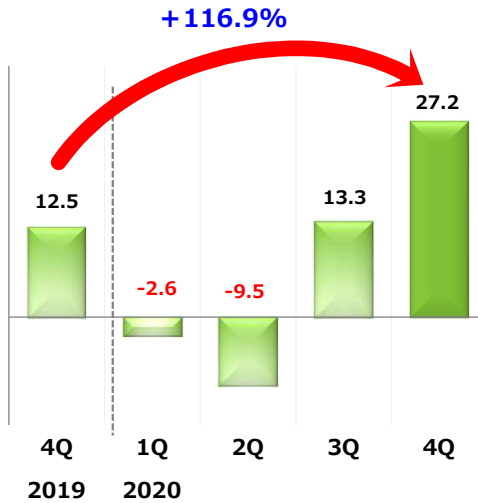
- アジア (日本、韓国、シンガポール) では、マーケットが緩やかに回復してきたが、3Q同様に前年同期比では減少した。
- 中国では、車載関連は堅調だったものの、家電関連主要顧客の戦略変更、米中関係の悪化の影響により、前年同期比では減少した。
- 北米、欧州地域では、車載関連マーケットの回復が進み、売上高が拡大した。

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

営業利益の推移



(億円)



■ 3Qに引き続き、売上拡大に伴い、営業利益は大幅に改善した。計画比も大きく上回った。

■ 主な改善要因は、

- ✓ 売上高の継続的回復による操業度の上昇
- ✓ 継続的な業務プロセスの見直し、改善による固定費削減
- ✓ 2Qに計上した固定資産減損損失の一部戻し入れ
- ✓ 海外子会社におけるリース債務の減少

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

7

前年同期、直前四半期比較



(単位：百万円)

	19.4Q (A)	20.3Q (B)	20.4Q (C)	前年同期比 (C)/(A)	直前四半期比 (C)/(B)
売上収益	23,871	22,325	23,930	0.2%	7.2%
売上総利益	3,419	3,323	4,396		
売上総利益率	14.3%	14.9%	18.4%		
営業利益	1,254	1,331	2,721	116.9%	104.8%
営業利益率	5.3%	6.0%	11.4%		
金融収益/費用 (Net)	△381	△360	△419		
税引前四半期利益	873	971	2,302	164.2%	137.5%
法人所得税費用	7	△397	△617		
親会社所有者に 帰属する四半期利益	815	580	1,631	99.8%	180.7%
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	30.05	21.38	60.05		

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

8

【2020年第4四半期の業績】

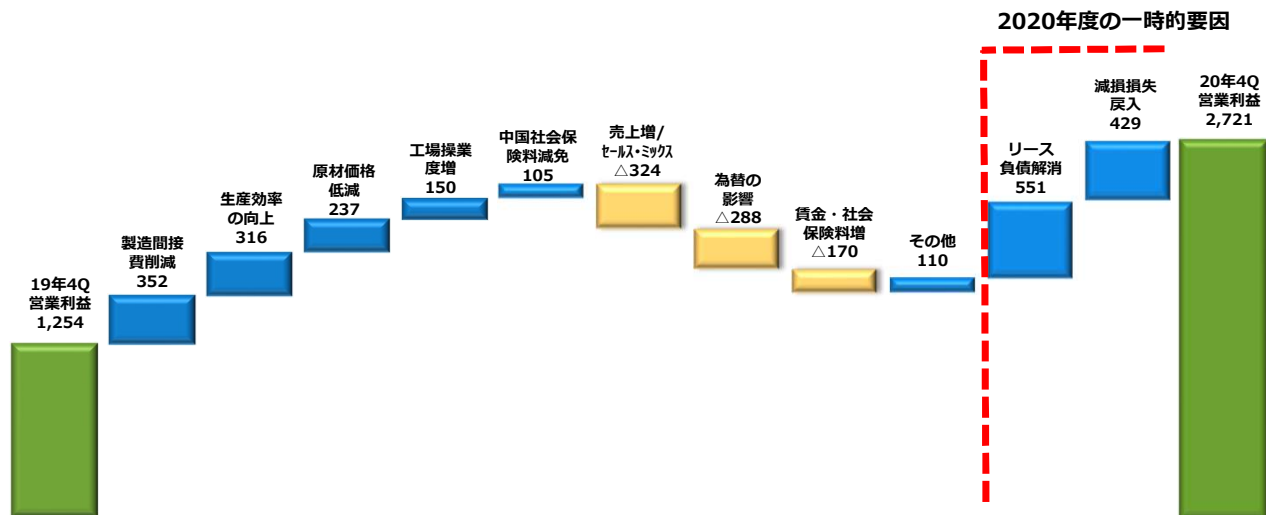
売上収益は239億円で直前四半期比7.2%増、前年同期比0.2%増、また営業利益は27億21百万円となりました。

欧米を中心にコロナウイルス感染が治まらない中で、予想以上に需要サイドが回復を見せました。

営業利益増減要因分析 - 20年4Qと19年4Q -



(単位: 百万円)



Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

9

一時的な要因として、

2020年度第2四半期に計上したスマホメーカー向けの生産設備の減損損失の一部429百万円の戻し入れが発生しました。スマホの販売が好調で増産要請に対応する事になったためです。

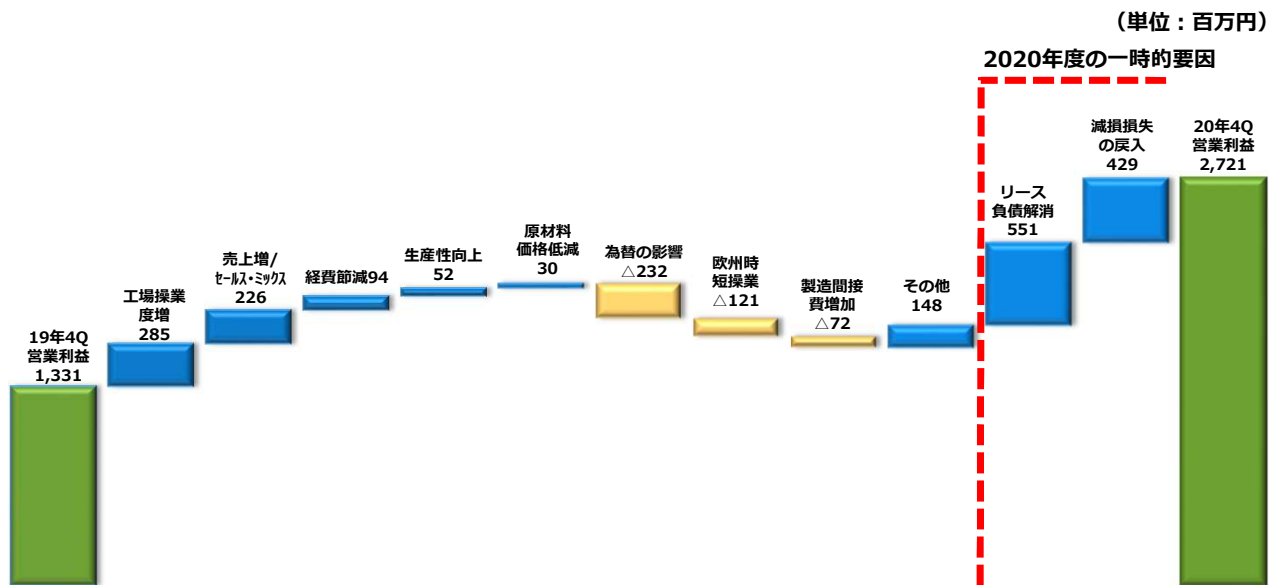
また中国で賃借していた土地を将来的に使用する見込みがないため契約を解約しました。リース負債として計上していた551百万円が戻し入れされました。

売上は前年同期まで回復したものの製品ミックスが324百万円の減益要因になりました。工場の製造間接費の削減と操業度の上昇により、それぞれ352百万円、150百万円増益に貢献しました。

また原材料の原価低減により237百万円の増益、生産性向上の取り組みにより316百万円の増益になりました。

主に人民元高の影響が288百万円の減益要因になりました。

営業利益増減要因分析 - 20年4Qと20年3Q -



Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

10

一時的な要因として、

第2四半期に計上したスマホメーカー向けの生産設備の減損損失の一部429百万円の戻し入れが発生しました。スマホの販売が好調で増産要請に対応する事になったためです。

また中国で賃借していた土地を将来的に使用する見込みがないため契約を解約しました。リース負債として計上していた551百万円が戻し入れされました。

第4四半期は第3四半期以上に車載事業の売上の回復を見る事ができ226百万円の増益要因になりました。その結果、工場の操業度が上昇し固定費の負担が285百万円減少し利益に貢献しました。

一方で、人民元高が引き続き進むことで円建てで製品原価が上昇し232百万円利益を圧迫しました。



2020年度 通期業績概要

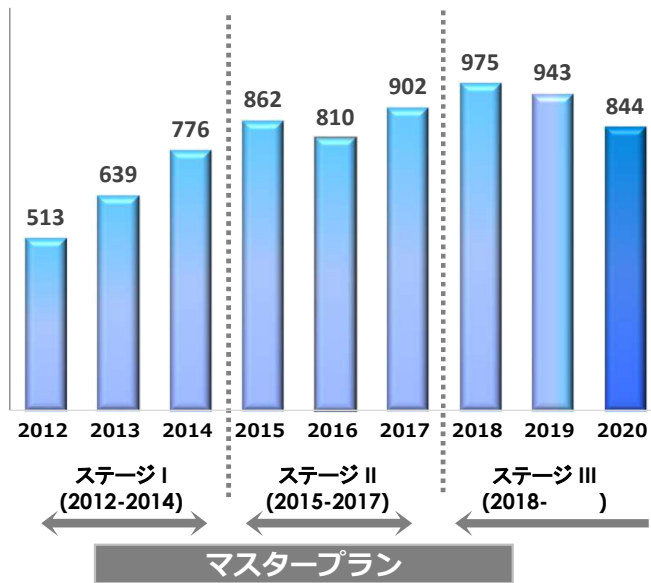
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

11

売上高推移



(億円)



- 特に上半期、米中関係の悪化の影響および新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の拡大により、マーケットが大幅に縮小し、売上高が大きく減少した。

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

12

2020年度 売上の内訳

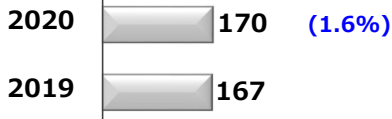


(億円)

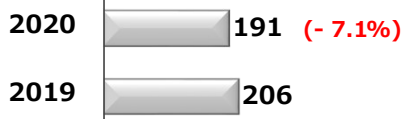
車載



インダストリー

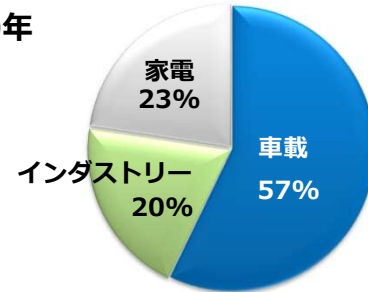


家電

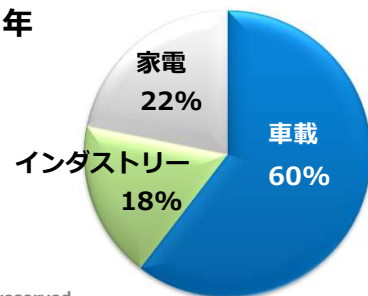


売上比率

2020年



2019年



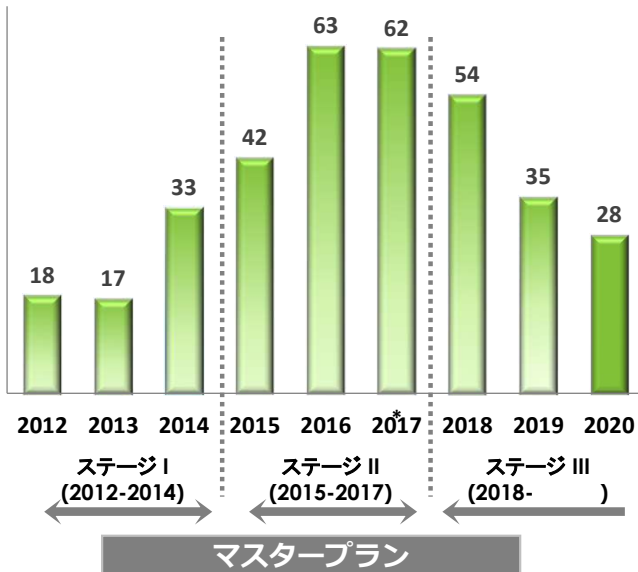
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

13

営業利益の推移



(億円)



* 2016 IFRSベース

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

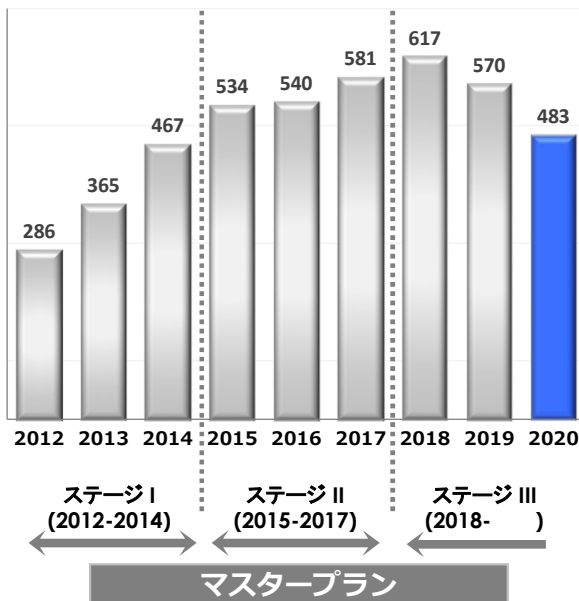
14

- 特に上半期は、厳しい外部環境下において売上高減少、工場の操業度の低下等により営業利益が減少した。また主要顧客の戦略変更により、固定資産の減損損失を計上した。
- 下半期以降マーケットが回復する中で、売上高が回復し、種々業務プロセスの改善、固定費削減等を継続的に実施したため、下半期の営業利益は大きく改善した。

車載関連の状況



売上高推移 (億円)



- 2020年は、昨年に引き続き自動車生産台数がマイナスに転じた。特に上半期、欧米地域の一部顧客工場の稼働停止が大きな要因
- 下半期はマーケットが回復するとともに、売上高も好転
- EV/xEV関連売上はコロナ禍においても生産台数が増加した。今後についても大きく拡大していく見込み。

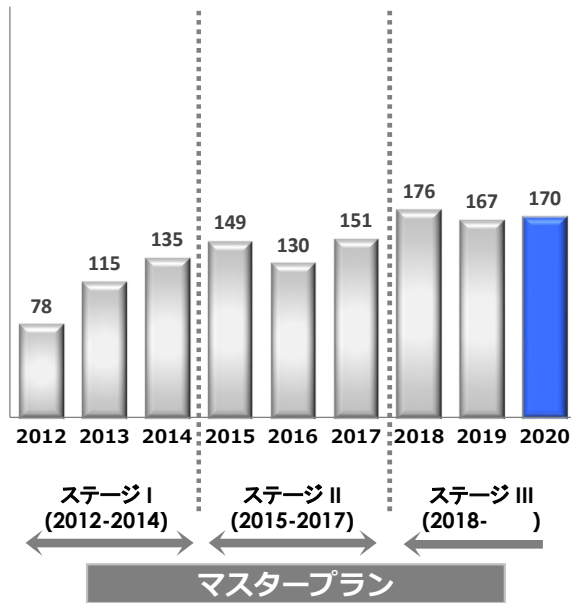
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

15

インダストリー関連の状況



売上高推移 (億円)



- インダストリー関連も車載同様コロナ禍の影響があり厳しい環境ではあったが、2020年は若干ではあるがプラス成長となった。
- 脱炭素化の動きもあり欧米の太陽光発電用設備が好調
- メディカル関連等の新しいアプリケーションの開発は着実に進んでいる。近い将来収益に寄与してくる。

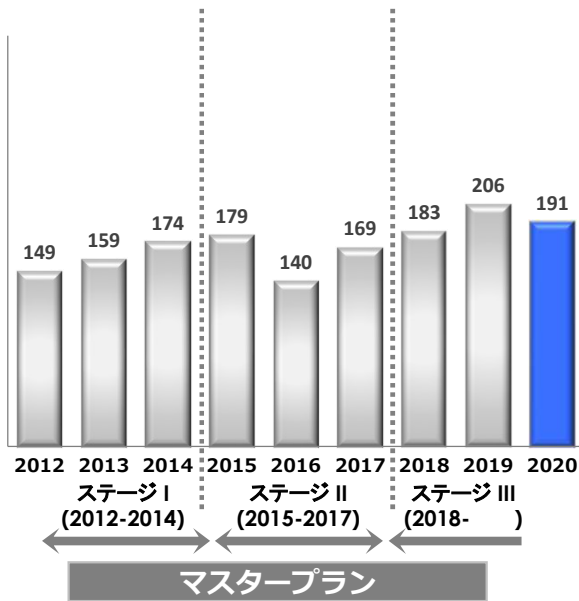
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

16

家電関連の状況



売上高推移 (億円)



- 巣ごもり需要の効果もあり、白物家電、ノートパソコン、タブレット、データセンター用の分野の売上は好調
- 特に下半期からの受注は、堅調に推移した。
- 一部主要顧客の戦略変更、および米中関係の悪化により、家電関連全体としては、マイナス成長となった。

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

17

比較



(単位：百万円)

	19年通期 (A)	20年通期 (B)	前年同期比 (B)/(A)
売上収益	94,283	84,417	△10.5%
売上総利益	12,868	11,098	
売上総利益率	13.6%	13.1%	
営業利益	3,543	2,838	△19.9%
営業利益率	3.8%	3.4%	
金融収益/費用 (Net)	△1,358	△1,367	
税引前当期利益	2,184	1,470	△32.7%
法人所得税費用	△588	△631	
親会社所有者に 帰属する当期利益	1,582	828	△47.7%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	58.36	30.50	

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

18

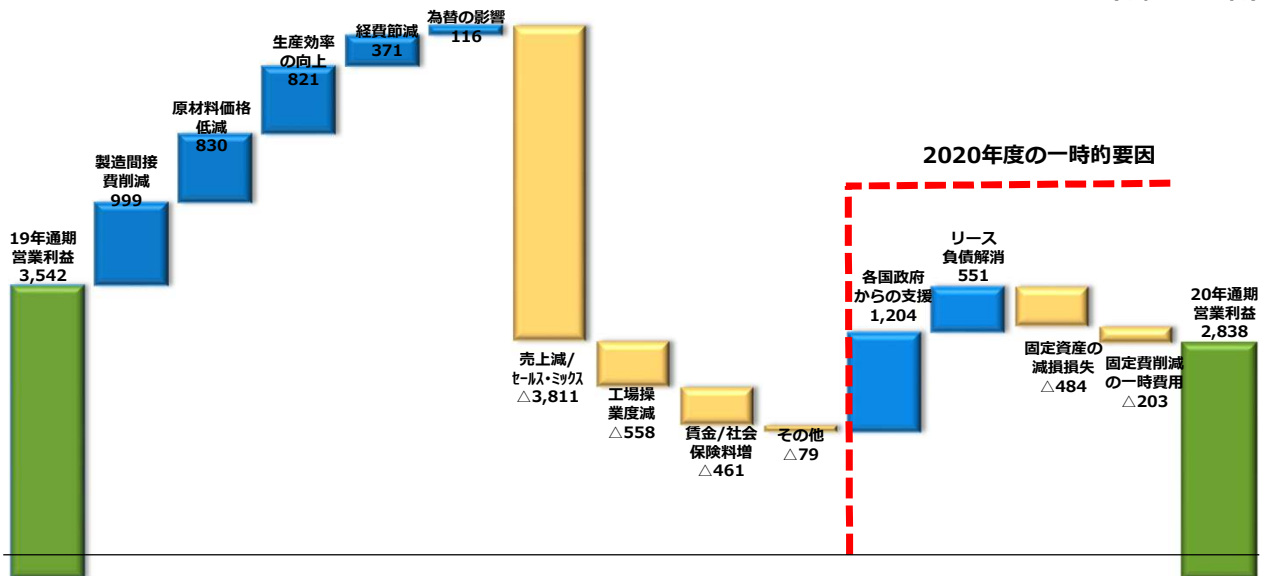
上半期はCovid-19感染拡大の影響で、各国でロックダウン、工場操業停止等があり、大幅な減収減益でした。

下半期には回復が見られたものの、上半期の落ち込みが大きく、前年同期比減収減益となりました。

営業利益増減要因分析 - 20年通期と19年通期 -



(単位: 百万円)



Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

19

一時的な要因として、

Covid-19について各国政府からの計1,204百万円の支援を受けました。

中国で賃借していた土地を将来的に使用する見込みがないため契約を解約しました。リース負債として計上していた551百万円が戻し入れされました。

生産設備の減損損失の484百万円は主にスマホメーカーの戦略変更によるものです。

売上はCovid-19により上期大きく落ち込み下期に持ち返すも大幅減収となり製品ミックスと相まって3,811百万円の減益要因になりました。

その結果、工場操業度が低下して558百万円の減益要因となりました。

また、中国政府による社会保険料の減免の影響を除くと賃金、社会保険料は461百万円の減益要因になりましたが、

一方で、工場での取り組みが大きく業績に貢献し、原材料の原価低減830百万円、製造間接費の削減999百万円、生産効率の向上821百万円の増益要因となりました。

経費についても節減に努め371百万円の増益要因になりました。

連結財政状態



(単位：百万円)

	19年12月末	20年12月末	増 減		19年12月末	20年12月末	増 減
流動資産	43,032	43,474	441	流動負債	30,630	29,973	△656
現金及び現金同等物	3,286	5,237	1,950	営業債務及びその他の債務	10,184	10,149	△34
営業債権及びその他の債権	18,826	17,832	△994	短期有利子負債	9,303	9,286	△17
棚卸資産	16,877	16,484	△393	1年内返済予定又は償還予定の長期有利子負債	6,367	5,538	△829
その他の流動資産	4,041	3,920	△120	1年内返済予定のリース債務	807	836	29
非流動資産	53,528	54,589	1,060	その他の流動負債	3,967	4,163	195
有形固定資産	35,668	36,936	1,268	非流動負債	31,337	33,532	2,194
使用権資産	3,938	4,298	360	長期有利子負債	23,707	25,681	1,974
のれん	4,176	4,122	△54	リース債務	3,462	3,245	△217
無形資産	6,151	6,016	△135	その他の非流動負債	4,166	4,604	437
繰延税金資産	2,140	2,197	57	負債合計	61,967	63,505	1,538
その他の非流動資産	1,453	1,017	△436	資本合計	34,593	34,557	△36
資産合計	96,561	98,063	1,502	親会社所有者に帰属する持分合計	33,013	32,990	△23
	19年12月	20年12月		非支配持分	1,579	1,567	△12
流動比率	1.40	1.45		負債資本合計	96,561	98,063	1,502
Net DEレシオ	1.09	1.07		為替 米ドル/円	108.66	103.12	
C C C (日)	67	73		ユーロ/円	121.83	126.82	
				人民元/円	15.54	15.80	

* Net DEレシオ：（（短期銀行借入+1年内長期銀行借入+長期銀行借入）-現金及び現金同等物）/親会社所有者に帰属する持分合計

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

20

Net DEレシオは1.07でした。130億円のコミットメントラインは未使用です。

なお、従来のDPO計算式を見直し、分子、分母の整合性をとりました。

連結キャッシュ・フロー



	19年通期	20年通期	(単位:百万円) 差異
営業キャッシュ・フロー	8,732	9,107	374
税引前当期利益	2,184	1,470	△714
減価償却費及び償却費	5,309	5,947	638
減損損失	19	482	462
運転資本の増減	1,772	1,724	△47
その他	△552	△517	35
投資キャッシュ・フロー	△8,133	△6,669	1,464
設備投資	△7,353	△5,989	1,364
その他	△780	△680	99
財務キャッシュ・フロー	△1,261	△447	813
有利子負債の増減	552	1,018	465
配当金支払	△731	△164	567
その他資本性金融商品の所有者に対する 分配の支払額	△203	△353	△150
リース債務の返済による支出	△878	△948	△69
その他	△0	△0	0
現金及び現金同等物期末残高	3,286	5,237	1,950

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

21

昨年度と同様、運転資本の縮小により営業キャッシュフローは順調に推移しました。

設備投資は顧客プロジェクトの進行の影響により前年同期より減少しました。

。



2021年度 業績予想

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

22

2021年度の見通し

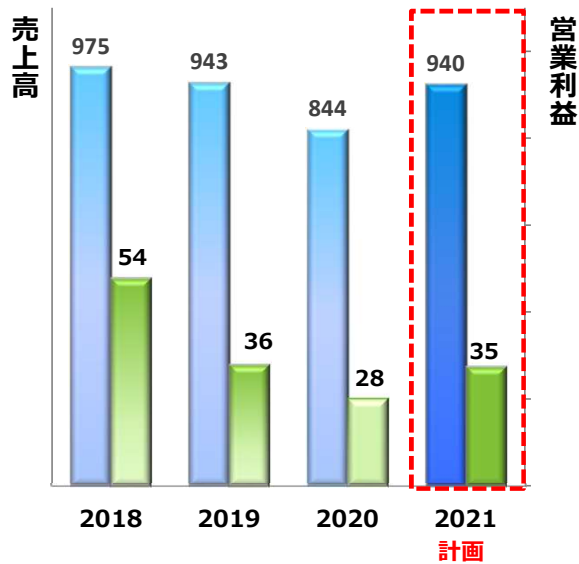


- 自動車関連では、既存製品の需要回復はスローペースであるが、より環境問題等がクローズアップされることにより、EV/xEV関連の需要は大きく拡大する。
- 家電、インダストリー関連では、今後より一層の脱炭素化、5G、デジタル化関連分野での売上が拡大する。
- 2020年度に実施した業務効率改善を継続し、DXを活用して2021年も固定費削減を行う。
- 収益に影響を及ぼす不確定要素は、Covid-19の感染再拡大、銅価格の上昇、人民元高があげられるが、その中でも2021年数値目標を達成する。
- ESG活動を着実に実施していく。

2021年度 売上高、営業利益計画



(億円)



- 売上高、営業利益ともに前年対比でプラス成長を計画する。
- Covid-19による影響の先行きは不透明だが、車載（特にEV/xEV市場向け製品）、5G、デジタル化を中心にビジネスを拡大していく。
- 2020年と同様にDX活用による生産性向上を通じ、オフィス拠点の最適化、活動費の最小化を促進する。

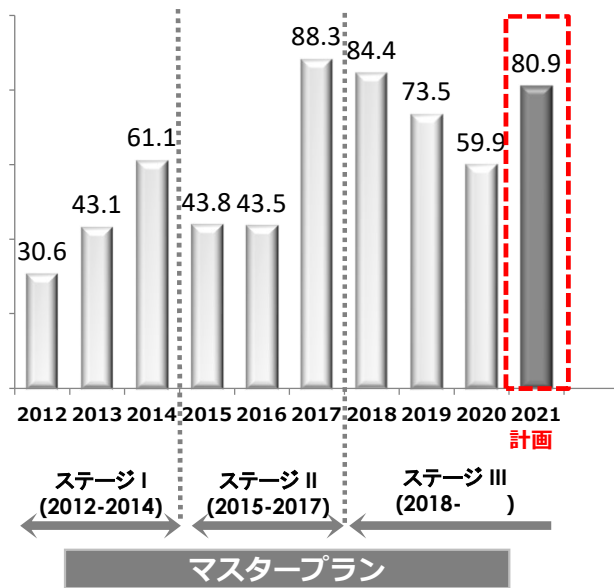
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

24

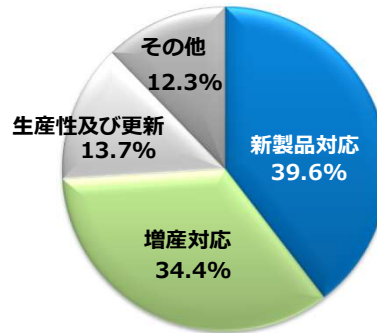
2021年度 設備投資計画



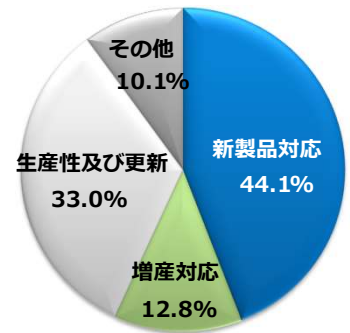
(億円)



2020年実績



2021年計画



2020年の設備投資実績は、直近3年間の平均を下回る59.9億円。コロナ禍で、顧客都合による新製品開発スケジュール、増産対応の延期が主な要因。

2021年は、新製品対応、生産性及び更新を中心に80.9億円を計画。

2021年12月期連結業績予想



（単位：百万円、円）

	20年12月期実績	21年12月期予想	比較（%）
売上収益	84,417	94,000	11.4%
営業利益	2,838	3,500	23.3%
営業利益率	3.4%	3.7%	
税引前当期利益	1,470	2,100	42.9%
親会社所有者に 帰属する当期利益	828	1,500	81.1%
基本的1株当たり当期利益	30.05	55.19	

為替レート

（実績および業績予想の前提）

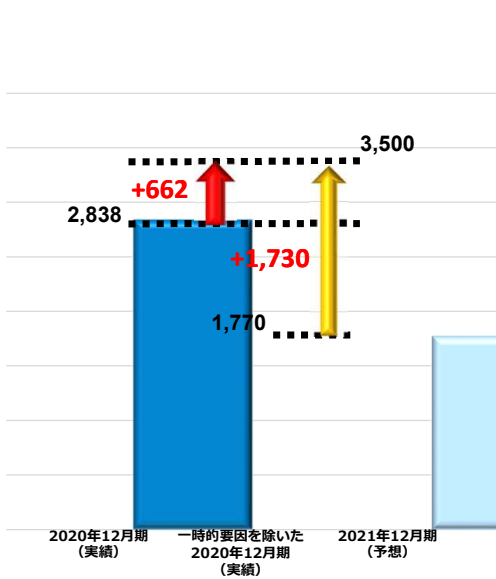
米ドル/円	107.02	104.90
ユーロ/円	121.44	123.80
人民元/円	15.40	16.00

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

26

Covid-19からの回復を前提としないで、売上収益11.4%増、営業利益23.3%増を予想

営業利益分析



2020年12月期営業利益		2,838
増益要因	増収効果	1,707
	原材料価格低減	927
	生産性向上	734
	工場操業度の増加	632
	新型コロナ関連で2021年に受け取る見込みのドイツ政府からの支援	507
	固定資産の減損損失 (2020年度の一時的要因)	485
	固定費削減の一時費用 (2020年度の一時的要因)	203
	製造間接費の増 (減)	49
増益要因合計		5,244
減益要因	新型コロナ関連2020年に受け取った各国政府からの支援(2020年度の一時的要因)	△1,204
	銅価格の上昇	△1,102
	賃金及び社会保険料の上昇	△698
	中国の土地リース解約によるリース債務の解消 (2020年度の一時的要因)	△551
	値下げ要請	△493
	人民元高による製造原価の上昇	△359
	EUの洪水被害の補助金	△145
	その他	△30
減益要因合計		△4,582
合計		3,500

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

27

一時的な要因として、

2020年度はCovid-19について各国政府からの計1,204百万円の支援

中国で賃借していた土地を将来的に使用する見込みがないため契約を解約、リース負債551百万円の戻し入れ

主にスマホメーカーの戦略変更による生産設備の減損損失の485百万円

固定費削減のための一時的費用203百万円

ドイツ、ドナウ川洪水の補助金145百万円

2021年度でも引き続きドイツ政府から見込まれる支援507百万円

売上増とそれに伴う工場操業度の上昇により、それぞれ1,707百万円、632百万円の増益、

一方で、製品ミックス、値下げ交渉による減益が493百万円見込まれます。

銅価格の高騰による1,102百万円の減益要因を、その他の原材料の原価低減により927百万円で極力補う見込みです。

賃金及び社会保険料の上昇が698百万円見込まれ、さらに人民元高による製造原価の上昇359百万円が見込まれます。

これについては、生産効率を向上し734百万円、生産量が増える中でも製造間接費の削減することで極力補う見込みです。



Financial Analysis

次ページ以降は、決算説明で使用しなかった資料を掲載しております。

減価償却費、設備投資額、研究開発費



(単位：百万円)

		2019年通期実績	2020年通期実績	2021年通期予想
減 価 償 却 費		3,787	4,183	4,551
設 備 投 資 額		7,353	5,989	8,100
研 究 開 発 費		3,825	3,545	4,000
期 中 平 均 為 替 レ ー ト	米ドル/円	109.14	107.02	104.90
	ユーロ/円	122.35	121.44	123.80
	人民元/円	15.81	15.40	16.00

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

29

四半期業績推移



(単位：百万円)

		19.4Q	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q
売上収益		23,871	20,573	17,588	22,325	23,930
営業利益		1,254	△260	△954	1,331	2,721
為替	米ドル/円	108.57	109.43	107.89	106.01	104.75
	ユーロ/円	119.76	120.76	118.17	123.32	123.53
	人民元/円	15.34	15.66	15.17	15.15	15.61

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

30

報告セグメント四半期会計期間売上収益



(単位：百万円)

	19.4Q (A)	20年3Q (B)	20年4Q (C)	前年同期比 (C)/(A)	直前四半期比 (C)/(B)
アジア・パシフィック事業	15,682	14,072	15,253	△2.7%	8.4%
EU事業	8,189	8,253	8,676	5.9%	5.1%
合計	23,871	22,325	23,930	0.2%	7.2%

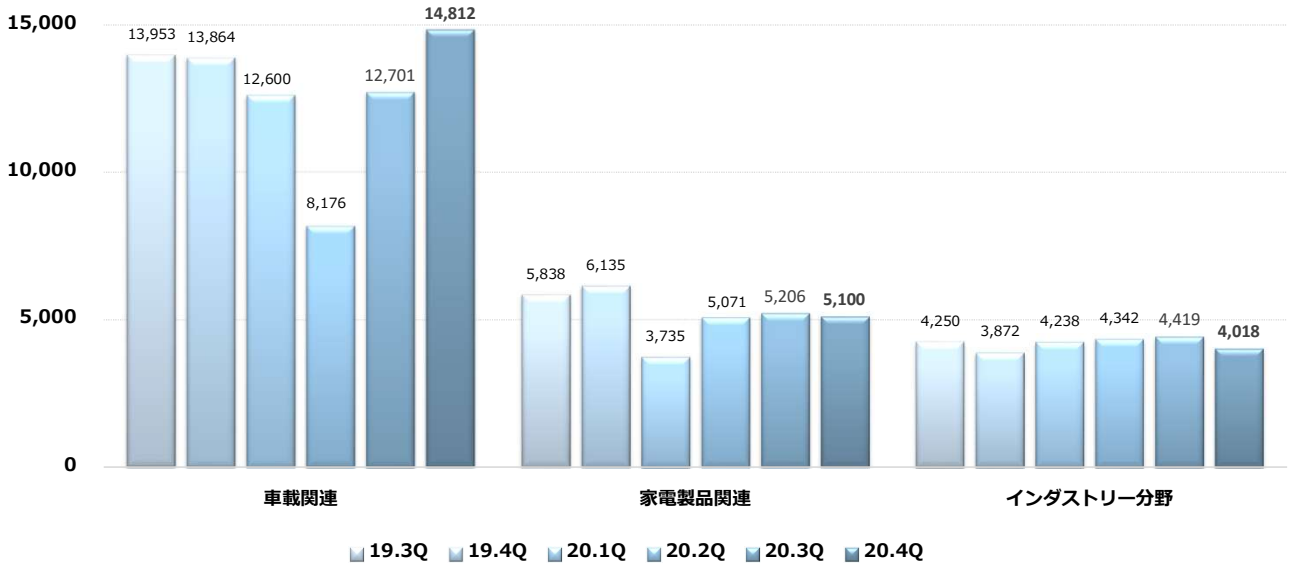
Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

31

市場セグメント別四半期売上収益



(単位：百万円)

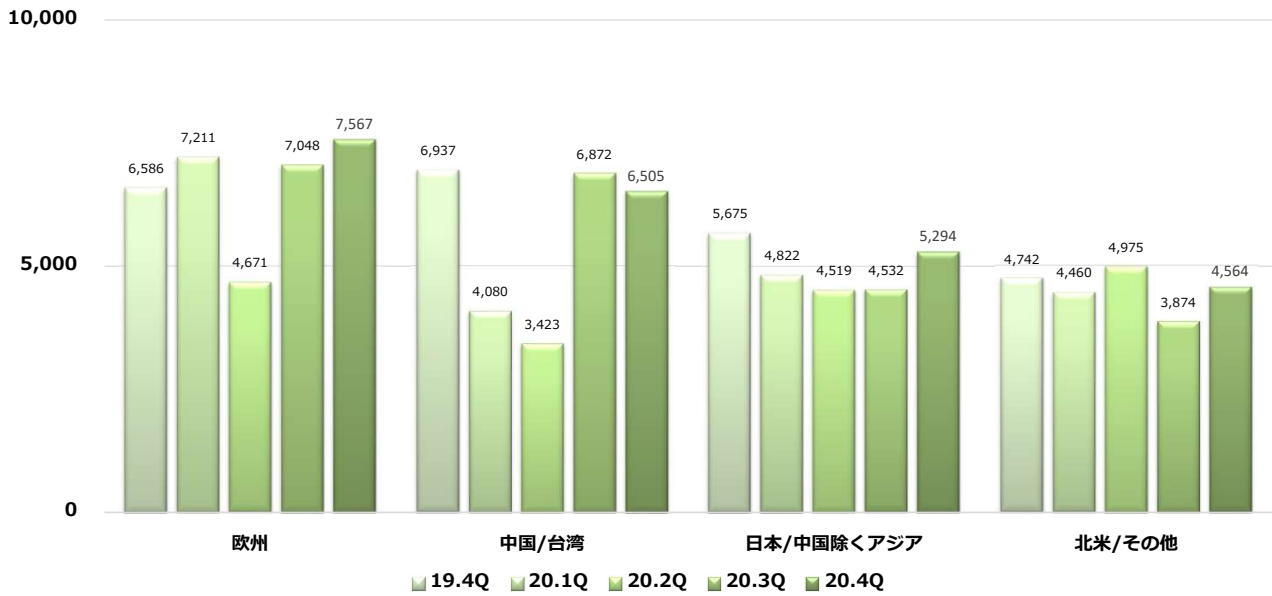


Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

仕向地別四半期売上収益



(単位：百万円)



Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

為替の影響度



(単位：百万円)

為替変動による影響

通貨	2021年 前提為替 レート	対円変動幅	売上収益 への影響	営業利益 への影響
USドル	104.90	1円円高	309	81
ユーロ	123.80	1円円高	264	42
人民元	16.00	1円円高	512	△1,100

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

34

四半期売上収益/営業利益推移



(単位：百万円)

	11.Q1	11.Q2	11.Q3	11.Q4	12.Q1	12.Q2	12.Q3	12.Q4
売上収益	13,259	13,880	13,705	11,913	12,375	13,346	13,220	12,357
営業利益	618	661	530	300	197	552	582	366
	13.Q1	13.Q2	13.Q3	13.Q4	14.Q1	14.Q2	14.Q3	14.Q4
売上収益	14,228	16,021	17,067	16,575	18,647	18,986	20,304	19,624
営業利益	240	449	670	338	524	808	1,436	576
	15.Q1	15.Q2	15.3Q	15.4Q	16.1Q	16.2Q	16.3Q	16.4Q
売上収益	21,585	21,961	22,152	20,537	20,603	20,921	19,876	19,651
営業利益	1,003	1,224	1,484	524	1,223	1,936	1,849	1,260
	17.1Q	17.2Q	17.3Q	17.4Q	18.1Q	18.2Q	18.3Q	18.4Q
売上収益	21,599	21,769	23,164	23,621	22,701	23,838	25,682	25,314
営業利益	1,566	1,780	1,774	1,097	456	1,281	2,085	1,559
	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q
売上収益	23,198	23,172	24,040	23,871	20,573	17,588	22,325	23,930
営業利益	600	524	1,163	1,254	△260	△954	1,331	2,721

※2016年第1四半期からIFRS基準を任意適用した数字を記載しています。

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

35

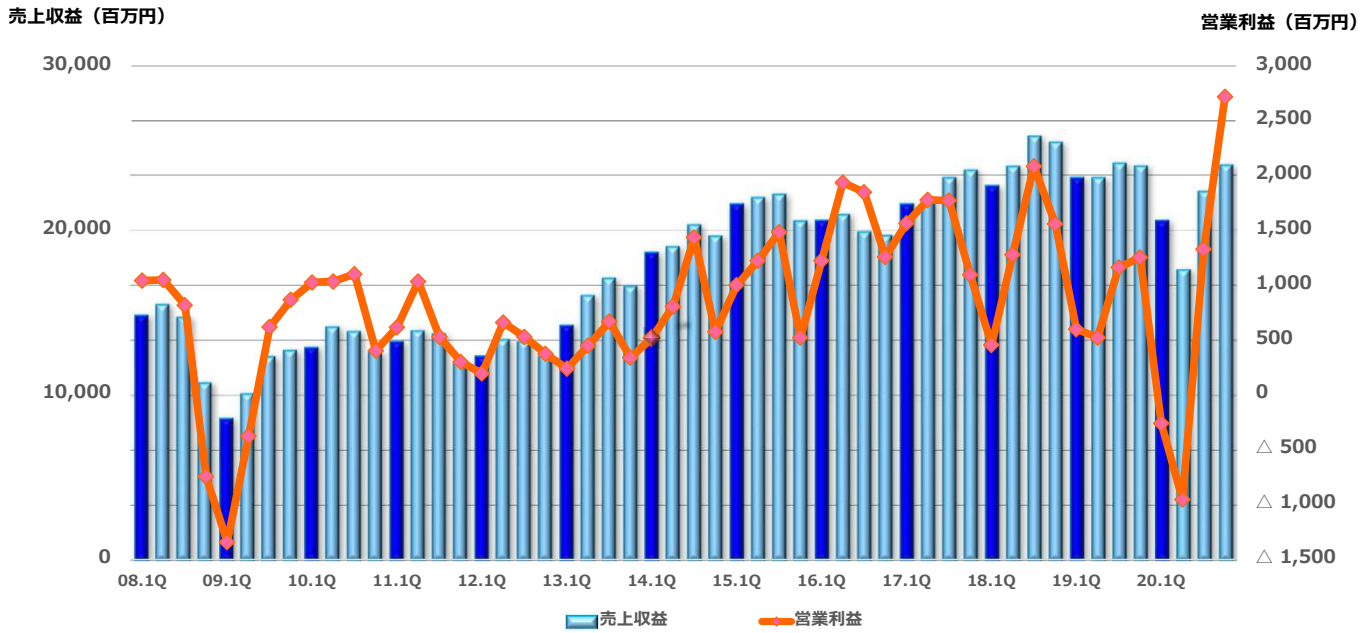
銅価格、銅使用量



	銅価格実績	銅使用実績
2020年12月期実績	5,895 米ドル/トン	5,290トン

	銅価格前提	銅使用見込み
2021年12月期予想	8,000 米ドル/トン	5,800トン

四半期売上収益/営業利益推移

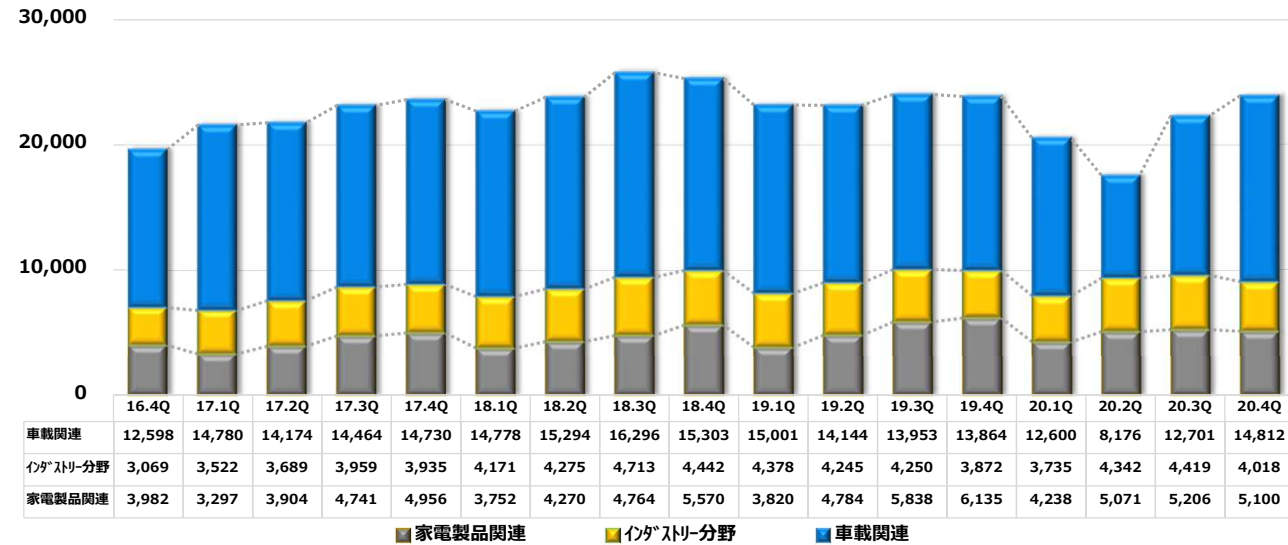


Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

市場セグメント別売上収益 四半期推移



(百万円)



(注) 市場セグメントの見直しにより、過去数値については変更される場合があります。

Copyright© 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

ご注意



将来予測に関する記述

当資料に掲載されている記述には、当社の将来予測に関する記述が含まれています。これらの将来予測に関する記述は、当社が現時点で入手した情報に基づくものです。従って、予期せぬ事象の発生及び経営環境の変化（世界経済情勢、事業構造、競争状態、技術動向、公的規制、社会環境・労働環境等によるものを含みます。）等の要因によって、実際の結果がこれらの将来予測に関する記述と異なる結果となる可能性があることをご了承ください。また、当社は、実際の結果が将来予測に関する記述と異なる結果となった場合でも、将来予測に関する記述を修正して公表する義務を負うものではありません。また、そのことに付随して発生したいかなる損失、損害にも責任を負いません。

本資料の著作権は、当社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

なお、本資料では百万円単位で管理している原数値を億円単位で表示している場合があります。合計額、差額等が不正確な場合があります。詳細な数字が必要な場合は決算短信を参照していただきますようお願いいたします。



Copyright © 2021 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

40